

同じ想いを胸に

今年の同立戦を制するのは
果たして—。

同志社

HAKUSUI KENTA

1 主将 白水 健太

2015年5月16日

「同立戦に勝たないと
意味がない。」

松本 哲弊 MATSUMOTO TEPPEI

19 溝田 悠人 MIZOTA YUTO

9 辻 心薫 TSUJI MOTOMASA

14 平尾 拓也 HIRAO TAKUYA

**写真で振り返る
2015同立戦**

滝谷監督語録

注目選手

レイアウト 棚木 雅葉



頑張れ!! 硬式野球部

FOR THE DOSHISHA

みんなに夢と感動を!!

硬式野球部 OB会



同立戦
パックナンバーで振り返る

いざ立ちあがれ

9季ぶりの優勝決定戦、

記者の眼

今回の企画はアトム史上初の試みである「記者の眼」。世間でも知名度高い問題の大學生が持つは眞面目な視点をもって、立命館の学生たちが「立命館の運営」について語り合っている。

これからの動向を見た記者の予想など、日々の立命館の運営が、どうして「立命館の運営」として語られるべきかなど、立命館の運営に対する意見などをまとめています。

（立命館の運営）

7 堂主

打率.417。現時点での高打率を誇るのは、堂主。2番で遊撃手を務める立命大在籍の強打者だ。対関学3回戦、勝ち点のかかった重要な第3戦、堂は重圧を跳ねのけるかのようにタイムリーヒットを放った。続く対関大2回戦でも、タイムリーツーベースで貴重な追加点を叩き出した。つなぐだけが2番の役割ではない。攻撃的なスタイルは立命打線に新たな風を吹き込んだ。守備にも抜かりはない。広い守備範囲と、無駄のない送球で走者を許さない。大胆ながら堅実な守備で、ここまで無失策を記録。加えて盛り上げ役も担当。打球を待つ時だけでなく、ベンチでも声を張る。「一生懸命やった結果がついてきた」と手応えも十分だ。目標とする像は「相手が嫌がる『いやらしい選手』」。しかし、今季の堂は一勝違う。強力な打撃は、同志社にとって間違いなく強敵となる。勢い止まぬ男を、抑ええた先に勝利の花は咲く。(①どうきよし②178③75%④文部省4年⑤国体学園高校⑥右投右打⑦.417)



11 山上 大輔

ピンチを迎えるも動じない。顔色1つ変わることなく相手を打ち取るのは、山上大輔だ。対関学2回戦。先発登板後にマウンドに立ち、見事2回を零封した。関学大打線を封じ込め、今季初勝利をつかみ取った。

長身から繰り出される角度あるストレートが持ち味の山上。カーブ、ツーシームなどの多彩な変化球でカウントを整え、ストレートとキレのあるスライダーで三振を奪う。

ここまでチーム最多の7登板と、フル回転の活躍を見せていく。ほとんどは試合の明暗を分ける場面でのリリーフだ。そんな中でも常に強気のピッチング。最速147km/hのストレートで、相手を封じ込める。

切れ目のない同志社打線を相手にしても、山上は冷静だ。「いつ投げるかわからないので、常に準備をしておく」と、ブルペンから出番を待つ。抜群の安定感を誇る山上を打ち崩し、同志社は王座を奪還する。(①やまとみだいすけ②産業社会学部2年③立命館宇治高校④1.82⑤8.8%⑥右投右打⑦.2.20)

29 池内 将哉

立命大不動の1番セカンド、池内将哉。持ち味の勝負強い打撃は多くのチャンスをチームにもたらす。昨年の立命戦と関学2回戦とともに決勝点となる適時打を決めた。

池内はバッティングだけではない。50mを5秒8で駆け抜けける俊足を併せ持つ。それを生かした守備は堅実そのものだ。昨年からエラーが1つだけであることが、それを証明しているだろう。

「同志社には知り合いが多いから楽しみ。だけど絶対に勝ちたい」。楽しむのはもちろんだが、リードオフマンとしての責任を果たしたいという強い意気込みで挑む。

チームがリーグ首位の好調なムードの中、守備では1失失、打撃では安打を量産している。立命戦の序盤でプレッシャーを与えることができるのかに注目だ。勝負の流れは池内を制するかにかかる。

(①いしかわまさや②法医学部4年③今治西高校④1.71⑤6.6%⑥右投左打⑦.304)



1 主将 高島 勇弥

TAKASHIMA YUYA

強豪立命館を束ねる主将、高島勇弥。彼は打線の中核となる4番を務めている。高島の持つ特徴は打撃力の高さ。安定したバッティングが評価される。年生時には必ず勝てるように、チーム最多の打点をたたき出している。毎回必ず打点をたたき出している。高島は攻撃の轴として、選手の存在感を見せていく。たまたま彼の活躍

は攻撃の

相撲力になる。対関学1回戦、初戦で大敗を喫し、肩を落としたチームを鼓舞しながら、2回戦では再び立派な活躍で喜び立たせた。また今季はいまノーエラーで守備も抜群。来季の活躍を期待される。

年生時は必ず勝てるように、だが今季の活躍を見れば青筋になる事は間違いない。高島が立命館が同志社の前に立ちはだかる。「しっかりと腰の望みをつないで同胞と戦いたい」とリレー制覇への思いは人情的。不運を乗り越え、復活を遂げた不死鳥・高島。同志社打線陣は彼の止まぬ勢いを抑える事ができるのか。高島政権が監督の力となる(①たかよしゆうや②文部省4年③立命館宇治高校④1.71⑤6.6%⑥右投右打⑦.304)

打(6.3割1分6回)

相撲力による。対関学1回戦、初戦で大敗を喫し、肩を落としたチームを鼓舞しながら、2回戦では再び立派な活躍で喜び立たせた。また今季はいまノーエラーで守備も抜群。来季の活躍を期待される。

例年の立命館は自立した活躍をしない。だが今季の活躍を見れば青筋になる事は間違いない。高島が立命館が同志社の前に立ちはだかる。「しっかりと腰の望みをつないで同胞と戦いたい」とリレー制覇への思いは人情的。不運を乗り越え、復活を遂げた不死鳥・高島。同志社打線陣は彼の止まぬ勢いを抑える事ができるのか。高島政権が監督の力となる(①たかよしゆうや②文部省4年③立命館宇治高校④1.71⑤6.6%⑥右投右打⑦.304)

打(6.3割1分6回)

相撲力による。対関学1回戦、初戦で大敗を喫し、肩を落としたチームを鼓舞しながら、2回戦では再び立派な活躍で喜び立たせた。また今季はいまノーエラーで守備も抜群。来季の活躍を期待される。

例年の立命館は自立した活躍をしない。だが今季の活躍を見れば青筋になる事は間違いない。高島が立命館が同志社の前に立ちはだかる。「しっかりと腰の望みをつないで同胞と戦いたい」とリレー制覇への思いは人情的。不運を乗り越え、復活を遂げた不死鳥・高島。同志社打線陣は彼の止まぬ勢いを抑える事ができるのか。高島政権が監督の力となる(①たかよしゆうや②文部省4年③立命館宇治高校④1.71⑤6.6%⑥右投右打⑦.304)

戦力分析

下剋上の壁を擰るのは選手と井手の二人。投打の軸として活躍する二人の大卒は、これまでの活躍が印象的。一方の立命館も東・西・南・北の四角い陣形を組んでおり、各投手はそれぞれの特徴を見せていく。

昨季は長打こそ少ないものの、第6節の近大戦を終えて打率4割4分8厘と絶好調が続く。高島は打率4割4分8厘と不調にならなかった。一方の立命館も打率4割4分8厘と絶好調が続く。高島は打率4割4分8厘と不調にならなかった。一方の立命館も打率4割4分8厘と絶好調が続く。

チーム最多の打点をたたき出している。毎回必ず打点をたたき出している。高島は攻撃の軸として、選手の存在感を見せていく。たまたま彼の活躍

は攻撃の

相撲力になる。対関学1回戦、初戦で大敗を喫し、肩を落としたチームを鼓舞しながら、2回戦では再び立派な活躍で喜び立たせた。また今季はいまノーエラーで守備も抜群。来季の活躍を期待される。

例年の立命館は自立した活躍をしない。だが今季の活躍を見れば青筋になる事は間違いない。高島が立命館が同志社の前に立ちはだかる。「しっかりと腰の望みをつないで同胞と戦いたい」とリレー制覇への思いは人情的。不運を乗り越え、復活を遂げた不死鳥・高島。同志社打線陣は彼の止まぬ勢いを抑える事ができるのか。高島政権が監督の力となる(①たかよしゆうや②文部省4年③立命館宇治高校④1.71⑤6.6%⑥右投右打⑦.304)

打(6.3割1分6回)

相撲力による。対関学1回戦、初戦で大敗を喫し、肩を落としたチームを鼓舞しながら、2回戦では再び立派な活躍で喜び立たせた。また今季はいまノーエラーで守備も抜群。来季の活躍を期待される。

例年の立命館は自立した活躍をしない。だが今季の活躍を見れば青筋になる事は間違いない。高島が立命館が同志社の前に立ちはだかる。「しっかりと腰の望みをつないで同胞と戦いたい」とリレー制覇への思いは人情的。不運を乗り越え、復活を遂げた不死鳥・高島。同志社打線陣は彼の止まぬ勢いを抑える事ができるのか。高島政権が監督の力となる(①たかよしゆうや②文部省4年③立命館宇治高校④1.71⑤6.6%⑥右投右打⑦.304)

打(6.3割1分6回)

相撲力による。対関学1回戦、初戦で大敗を喫し、肩を落としたチームを鼓舞しながら、2回戦では再び立派な活躍で喜び立たせた。また今季はいまノーエラーで守備も抜群。来季の活躍を期待される。

例年の立命館は自立した活躍をしない。だが今季の活躍を見れば青筋になる事は間違いない。高島が立命館が同志社の前に立ちはだかる。「しっかりと腰の望みをつないで同胞と戦いたい」とリレー制覇への思いは人情的。不運を乗り越え、復活を遂げた不死鳥・高島。同志社打線陣は彼の止まぬ勢いを抑える事ができるのか。高島政権が監督の力となる(①たかよしゆうや②文部省4年③立命館宇治高校④1.71⑤6.6%⑥右投右打⑦.304)

39 辰己 涼介

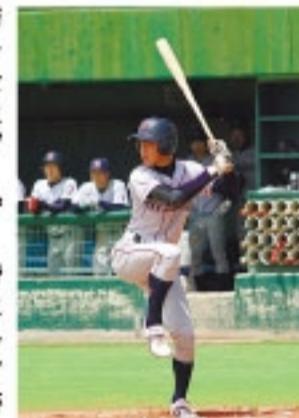
TATSUMI RYOUSUKE

「立命戦は、チームのために自分のために結果を残したい」と決意を固めた。昨年の春季リーグでは、1年生ながら3番を務めている辰巳だ。最大の武器は勝負強い打撃力。3連続ヘッドレスの失失を叩き、先制の適時2塁打を放った。エースの東も「さすが天才」と称えた1投手陣には脅威だ。さらに、打線のなかの3人が3割越えの高打率をマークしている。

この春2年生となった辰巳は、昨年の鮮烈なデビューに負けない素精らしい活躍を見せていく。

1年目から好成績を残せた要因としては、高校時代からプロを目指し、木製バットで練習していたことにある。より一層木製バットの感触に適応した今季、注目すべきは修正能力の高いバッティングだ。今季も10試合を終え、3割近く打率を誇るなど、そのセンスは天才といえる。加えて、持ち前の身体能力を生かした守備は、現在無失失である。また、50m5秒8の速い俊足は攻守両面で、常に相手の脅威になり続けている。走攻守そろった辰巳はまだまだ成長し続け、立命館3連覇の原動力になるだろう。

この天才が、同志社の前に立ちふさがることに間違いない。関西最古の伝統の一戦、注目が集まる。(①たつみりょうすけ②産業社会学部2年③立命館宇治高校④1.78⑤6.8%⑥右投左打⑦.279)



20 東 克樹

AZUMA KATSUKI

桜井・西川の主力2投手が抜けた立命大。それを一手に支えるのが最速146km/hを誇る新チームの絶対的エース、東克樹だ。最大の武器は低めのコントロール。彼の左腕から繰り出される、右打者のインローをえぐるストレートは相手を封じ込める。

今季のハイライトは京大1戦目。試合前に監督から「ヒット1本打たれたら交代」とハッパをかけられていた。その言葉を受け、「思い切り投げるしかない」とマウンドに立った。得意の低めのコントロールで、見事ノーヒットノーランを達成し「人生初めて。うれしかった」と喜びをあらわにした。開幕第1戦でサヨナラ負けした悔しさを果たした。

オフシーズンは特にツーシームを磨くことに専念してきた。チームのエースとして、立命大の投手陣を引っ張っていく気持ちで練習に励む。

「立命戦の時の同志社は強い。しっかり打線にぶつかっていきたい」と意気込みを見せた。彼はエースとして必ずこの試合で立ちはだかるだろう。その時、同志社がどのように攻撃するのか、東の投球を打ち破れ――。打撃陣に期待がある。

(①あずまつき②文部省3年③愛工大名電高校④1.70⑤7.0%⑥左投左打⑦.0.78)

注目選手



同志社大学
体育会カヌー部





STARTING MEMBER	1 左	2 中	3 右	4 二	5 三	6 游	7 右	8 捕	9 投
辻	辻	大西	矢野	井手	白水	平山	西田	山岸	福島
1 つじもとまさき 2 高橋和也 3 大西友也 4 中野拓磨 5 白水健太 6 平山拓磨 7 西田悠貴 8 山岸奎太 9 福島孝輔	2 おおにじともや 3 大西拓磨 4 矢野大起 5 井手拓磨 6 白水健太 7 平山拓磨 8 西田悠貴 9 山岸奎太 10 福島孝輔	3 おおにじともや 2 高橋和也 3 大西拓磨 4 矢野大起 5 井手拓磨 6 白水健太 7 平山拓磨 8 西田悠貴 9 山岸奎太 10 福島孝輔	4 やのこうへい 2 法医学部3年 3 大坂桐高校4年 4 矢野大起 5 白水健太 6 平山拓磨 7 西田悠貴 8 山岸奎太 9 福島孝輔	5 いではやと 2 法医学部3年 3 大坂桐高校4年 4 矢野大起 5 白水健太 6 平山拓磨 7 西田悠貴 8 山岸奎太 9 福島孝輔	6 ひらやまたくま 2 社会学部3年 3 富島第一高校4年 4 矢野大起 5 白水健太 6 平山拓磨 7 西田悠貴 8 山岸奎太 9 福島孝輔	7 いはくいんたん 2 法医学部3年 3 大坂桐高校4年 4 矢野大起 5 白水健太 6 平山拓磨 7 西田悠貴 8 山岸奎太 9 福島孝輔	8 いしやましまさき 2 法医学部3年 3 富島第一高校4年 4 矢野大起 5 白水健太 6 平山拓磨 7 西田悠貴 8 山岸奎太 9 福島孝輔	9 ふくしまこうすけ 2 法医学部3年 3 大坂桐高校4年 4 矢野大起 5 白水健太 6 平山拓磨 7 西田悠貴 8 山岸奎太 9 福島孝輔	10 （西村未由子）



僕らの同志社が
絶対勝つ。
僕の井手が
全部抑える。
僕の辻が
完璧に打つ。

狙え!! 大盤狂わせ



4季連続の5位から約半年、
勝てない悔しさより、
試合がない寂しさの方が
大きくなった。

立派館に勝つために、
僕が先に野球館で、
勝っておくよ。



新聞を読んでるアナタが同志社ナインを探れ！

選手紹介!!

不動の仕事人 手隼斗

西田のクラスメイト、手隼斗。左腕投手として、チームを支える力強い存在だ。彼の元気な笑顔が、選手たちの心を温めている。手隼斗は、西田の右腕投手として、チームを牽引する存在だ。彼の元気な笑顔が、選手たちの心を温めている。

西田の右腕投手として、チームを牽引する存在だ。彼の元気な笑顔が、選手たちの心を温めている。手隼斗は、西田の右腕投手として、チームを牽引する存在だ。彼の元気な笑顔が、選手たちの心を温めている。



Ticket Information

Yen: 400 (student)
Place: Wakasa stadium Kyoto
P.B: 13:00

白水、辻は2面チェック



5月21、22日 同立戦開幕 R



戦力分析

継投が力ギ



「4大で回す」と指揮
投げしたい。

官は構想を打ち明けた。
他大学のものがない投手
牌で試合を組み立てる。

今季のマウンドは先発投手
4人続きたれ。

初戦を任されたのが
多田樹高。こままで節

中止前に初戦先発として
いる。ほどのある直球と

多彩な変化球で、凡ての
山を奪う。

春秋合戦で、上級と争り
生んだいた昨季と一転、
山を奪う。

安定期のあるピッチング
で監督からの信頼を得ら

れる。今季は、一筋
に伸びなかつたが、
山を奪う。

山を奪う。

手を握る。今季は、
山を奪う。

成長を遂げつかんだ勝利 総合優勝への第一歩

大きな進歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

歩

大

き

な

進

